

第1回御堂筋完成80周年記念事業推進委員会 議事要旨

1. 日時：平成28年11月24日（木）16:30～17:30
2. 場所：大阪市役所7階 市会第3委員会室
3. 出席者：別紙「第1回御堂筋完成80周年記念事業推進委員会 座席表」のとおり
4. 議事要旨
 - (1) 開会（事務局）

- (2) 市長挨拶（吉村大阪市長）

皆様、本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

第1回御堂筋完成80周年記念事業推進委員会の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

元々、御堂筋は、幅員が6mの道路でしたが、当時の關市長が将来の大阪を考えた時に「恥じざる道路を造る」という思いの中で100年を見越して、梅田から難波まで幅員44mという当時では考えられないようなスケールの発想をされて昭和12年に完成しました。

当時は、ここに飛行場を造るのかと言われるぐらい非難をされた中で、大阪の将来に必要なと今から考えても先見の目で御堂筋を構築されたものだと思っております。しかも当時、受益者負担という新しい制度を導入しましたが、行政と民間が一体となって開発していくという新しい制度でしたので、当時の住民の方もだいぶ戸惑われたようですが、しっかり合意形成もされて道路造りをやられていかれたということです。

また、御堂筋線の地下鉄も通って地上と地下で、まさに一体となって、交通機能の立体化が図られ、しかも大阪のメインストリートとして、これまで発展してきたわけでありまして。また、イチョウ並木や沿道建築物の高さの百尺規制、電線の地中化を行ったということで、非常に美しい景観が構築されて機能性も高く、それが今、市民に親しまれている状況だと思っております。

こうしてできた御堂筋は当初、南北2方向の通行でしたが、大阪万博の時に南行き的一方通行に変わったということです。昭和58年には「大阪国際女子マラソン」が始まり、沿道の皆様からの寄付により、彫刻作品が設置されるなど、歩いて楽しめるエリアに変わってきていると思います。

近年では、いろんなカフェであったりブランドショップであったり、にぎわいづくりであったり、これまでオフィス一辺倒であった部分が徐々に徐々に変わりつつあります。先日、私も参加しましたが、御堂筋イルミネーションでも点灯式が行われ、一様ににぎわいがつくれる、そんなエリアに変わりつつあるのかと思っております。

ちょうど、万博で言うとパリも先日、万博に手を挙げるということがありました。大阪も万

博に手を挙げていますが、振り返って考えれば、大阪万博の時に南北の一方通行になった。

今回、万博について、大阪とパリとで都市化競争が行われるわけですが、将来的には御堂筋という大阪のメインストリートは、パリのシャンゼリゼ通りにも負けないぐらいの空間にしていきたいと思います。

大きな方向性という意味であれば、これから皆さんとご議論いただくということになるかと思うのですが、「車が通る道路から人が集まる空間に」というのが私の中での大きな路線として頭に入っていて、そういったことをめざしていきたいと思っております。

なんばの駅前も3日間ですが、車だまりから、人が集まるような空間が出来ないかという社会実験を行いました。千日前通から難波の所までは、自転車の側道も造って徐々に徐々に車中心の道路から人中心の道路へ変わりつつあると思っていますので、是非これをキーワードにして私は、御堂筋というところが人の集まる空間に変えていきたいと思っております。

今後、完成80年を一つの節目として、次の一步、次のステップという風に新たな発展ということを是非、皆さんと一緒に進めていきたいと思っておりますので、今後ともいろんなご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

私のあいさつは以上とさせていただきます。

(3) 出席者照会（事務局：別紙「座席表」）

(4) 第1号議案 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会設立趣意書（案）について

設立趣意書について、原案どおり可決

⇒本推進委員会が設立

(5) 第2号議案 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会規約（案）等について

規約について、原案どおり可決

⇒吉村大阪市長が委員長に、田中大阪市副市長が副委員長に就任

事務局は大阪市建設局、一般財団法人都市技術センターで構成

委員総数17名のうち、16名の出席につき、本委員会が有効に成立していることを確認

監事については、御堂筋まちづくりネットワーク代表監事の宮川委員が就任

(6) 第3号議案 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会アドバイザーの委嘱候補について

事務局より、アドバイザーの委嘱候補2名提案

成松委員より民間コンサル関係の方（ジオ・アカマツの高瀬さん）で大阪市の審議委員にもなっている方をアドバイザー候補として提案

⇒事務局より提案した2名が可決。もう1名を民間から選び3名とすることは可決。

3人目は今後検討する。

(7) 第4号議案 御堂筋完成80周年記念事業の実施（案）

原案どおり可決

5. 意見交換（概要）

◆ 御堂筋・長堀 21世紀の会 成松氏

規模といい、内容といいパリのシャンゼリゼ通りをも凌ぐとも言われている御堂筋を、人間優先モデル道路に、そしてその御堂筋を世界に向けて発信していくことこそが、大阪の未来を形作ると思っている。

パリ市がシャンゼリゼを活用してパリ市を世界に発信したように、大阪は御堂筋を世界に発信して大阪を活性化していくような方向性で80周年記念事業をスタートさせたい。

（市長コメント）

これまでは車だけが通る空間であったが、このポテンシャルを活かして人が集まる空間をできるだけ全面的に出して、大阪を発信するメインのツールとしていきたい。

◆ 大阪観光局 溝畑氏

70周年のときは何をされてそのレガシーがどうなっているのかを検証すること。

コンセプトを明確にし、目標をどこにおくかを定めることが大事。シンポジウムやワークショップ等は他でも皆がやっていること。

何か象徴的なこと（たとえば、御堂筋ゴミゼロ運動）をやって、発信しないといけない。24時間観光都市として打ち出すとか、あるいはどういう特性をもってやるのかとか、本気でやるのであれば、チャレンジしていかないと、いつまでたっても銀座とか原宿みたいにはならない。

（市長コメント）

客観的にみたらポテンシャルが高いという評価がでているわけだから、それをどうやったら最大限に引き出せるかという知恵出しが必要。

海外の主要都市でも、メインストリートを使って都市格を高めているところもあるので、そのあたりを参考にしながら、目指すべき将来像、人の空間ということで、そのコンセプトをしっかりと確定させてそれをもとにデザインや、将来像を今後決めていきたい。

◆ 国土交通省近畿地方整備局 小林氏

基本コンセプトに掲げている過去を学んで、未来を考えるは非常にいいと思う。

国土交通省としても実行委員会の中で具体的な案を皆様と一緒に検討していきたい。

◆ 関西経済連合会 梶藤氏

全国的PRとか海外にむけての発信はまだまだ道半ばといった感覚。

本来大阪の魅力っていうのは観光客においても、首都圏と同等ぐらいの観光客がきているが、まだまだ情報発信として伝わっていない。

御堂筋は、情報発信力・知名度・歴史文化としても、非常にポテンシャルがある。そういう点でも御堂筋をアピールしていくことが非常に意義のあることであり、可能性を広げるという意味ではいい取組だと思う。

◆ 関西経済同友会 野畑氏

御堂筋は大阪の象徴的存在である。

御堂筋の過去を学び、今を見つめ、未来を考える取組みの趣旨に賛同する。

今後大阪がますます発展し、一層の大阪の魅力づくりに貢献出来るよう協力する。

◆ **大阪商工会議所 児玉氏**

先日のなんば駅前エリアの広場化の社会実験では、駅前広場に多くのお客様が集い、大変なにぎわいを見せるなど、改めて大阪ミナミの観光拠点のポテンシャルの高さを認識することができた。市長がおっしゃる人が集まる空間として道路を活用していくことの重要性を認識した。

御堂筋のモデル整備事業も実施されているが、これも非常に評判がいいということなので、80周年を機に延伸して、拡幅された歩道の活用方法をこの場で考えていくことも有意義なことかと思っている。

(市長コメント)

現実的に考えて、側道は活用できると考えている。

側道を上手く活用すれば、人が集まり、御堂筋が発信になるのではないかと思う。

側道整備の第1段階は自転車通行帯でしたが、その先も見据えていきたい。

◆ **御堂筋まちづくりネットワーク 本多氏**

にぎわいづくりという面ではカフェ、飲食店、音楽祭などのイベントを実施しているが、その中で側道の活用が課題と考えている。普段から側道を活用できるようにすることで、もっと御堂筋が活性化し、エリア価値が向上するのではないかと考えている。実現に向けてこの場で議論していきたい。

◆ **アドバイザー 橋爪氏**

70周年では、5月にオープンフェスタということで、長堀から南を歩行者天国にして一日催し物を実施することができた。最初は、パレード型以外はダメ（静止演技等はダメ）ということで非常に苦労したが、いろいろな方の協力もありながら、一日車をとめる日を勝ち取ってきた。それが10年間継承してきて、秋に引継がれていき、昨年からはイルミネーションの点灯式の日には人が歩けるようになったというのが、70周年の時に我々が勝ち取った年に1日の自由なにぎわいづくりの日。

70周年のレガシーの最大のものには御堂筋をにぎわいのある場所として車をとめて使えるということであり、今後もそれを引き継いでいかなければならない。

今回の重要なことは官民連携の場であるということ。シャンゼリゼの場合は今からちょうど100年前になるが、シャンゼリゼ通りをこういう通りにするというのを行政主導ではなく、シャンゼリゼ協会という民間団体が主導で魅力あるまちづくりを実施しており、100年継続してきている。

シャンゼリゼは、久屋大通（名古屋）、銀座、五番街、シンガポールのオーチャードロー

ド、北京のワンフーチンなどと姉妹提携しており、パートナーはシャンゼリゼ委員会ということで、行政同士の姉妹関係ではなく、目抜き通り同士の関係を民間同士で結んでいる。

従来、道路は行政がつくるもの、両側の店舗は民間がつくるものということであったが、今回のビジョンは官民連携で一緒にやっというところが新しい動きであり、そういった民間の意識ができてくると、名古屋や銀座からは遅れてはいるが、シャンゼリゼコミュニティとの姉妹連携といったことができるかもしれない。

本委員会のメンバーは年輩の男性が多いということもあり、もうひと枠のアドバイザーで、たとえば民間で女性の専門家や若い世代をいれるなど、本委員会や実行委員会で多様な意見がはいるような進め方をしていただきたい。

(市長コメント)

行政は、民間ではなかなかできないようなこととか、行政しかできないことに専念するのがあるべき姿だと思っている。民間が活力を生み出し、色々なアイデアを出した時に、行政の規制が壁になるのであればそれをとっていくべきだと思う。これからは民間の力をどんどん出していってもらって、行政はそれを下支えする。行政しかできないことに徹底して、市民の暮らしを守るといのがあるべき姿だと思っている。行政が積極的に事業展開するという時代ではないという発想でやってきている。

今回、実行委員会の組織の中で民間の方にも入っていただき、いろんな意見を出していただき、行政はそれを下支えするという形で、将来の御堂筋像を民主導で考えていきたいと思っている。

(事務局)

アドバイザーに女性をとという話がでていたが、個人の方も委員に追加できる規定をもうけていますので、次回の推進委員会までに整理する。

◆ アドバイザー 嘉名氏

100年先の御堂筋を見据えたビジョンや将来像を考えるとすることは非常に大事。

シャンゼリゼの話でいうと、この5月から月に1回、第1日曜日を歩行者専用空間にするという事業をしている。なんのためにしているかというところから環境に配慮したまちにしていこうのがパリの大きな政策目標で、パリというまちの意思をシャンゼリゼというところで表していくことだと思う。そういう意味では大阪のまちの意思というのを御堂筋で表していくということが大事だと思っている。それを考えるというのがこの80周年事業の大きな骨子だと思いますが、考えるだけではなく実行に移していく必要があると思っている。

1919年は都市計画にとって非常に重要な年ですが、大阪の都市計画が初めて考えられて100周年というのがあるが、御堂筋の80周年から大阪の都市計画100年、この間に何かを可視化していく、大阪の意思というものをみせていくというようなやり方ができないだろうかと思っている。もちろん、恒常的な整備というものは時間がかかるという部分があると思うが、仮設でもいいので大阪の御堂筋沿道が変わっていくという姿を何年かかけて

徐々に見せていく、そんなことができたらいいなと考えています

(市長コメント)

例えば、道路を止めるとなったら、(結局は警察がポイント。)ここに警察のメンバーはいないわけだが、どう調整していくことになるのか？

(事務局)

行政だけがお願いするのではなく、どちらかという地元の皆様の「こういう使い方で我慢しよう」とか、「これでもいいからやってほしい」という声が、行政が警察にお願いする際の力になりますので、是非皆様で次回以降、色々なご意見を出していただいて、新たな御堂筋づくりの追い風をふかさせていただきたいと思っています。

(大阪観光局)

今のホコ天の話について、大阪府警の関係者に銀座や原宿では毎週末できて、御堂筋ではなぜできないのかということ聞いたのが、その時言われたのが、銀座や原宿では都民に周知徹底が図られているので、表示などといったところにあまりコストがかからない。新たに御堂筋でやろうとなった場合は表示などいったところを含めてかなりコストがかかる。コストの問題と人員の問題を含めてかなり大きな判断が必要になってくる。では、例外的に実施しているものを毎週末やるようにするにはどうすればいいのですか？と聞いたところ、そんなニーズがあるのですか？というところで物別れになっている。

その議論を警察当局と、しっかり議論を積み重ねていくことが大事。

(市長コメント)

わかりました。それも含めて私も知事ともいろんな話をしていますけど、何とかオール大阪でそうやってきた時にどこまで出来るのかをやっていきたいと思いますけど、そこで実際の議論を深めていただきたいと思います。

6. 閉会

(市長あいさつ)

時間も過ぎましたが、今日の第1回の会議については、このぐらいにしたいと思いません。

今日いただいた意見を基にさらに将来のビジョンについて深掘りをしていきたいと思っています。

次回は来年の3月に推進会議を開催したいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、第1回御堂筋完成80周年記念事業推進委員会を終了いたします。

皆さんお忙しい中お越しいただきましてありがとうございました。

またよろしくお願いします